

# 第三章

## 小結

### 明治時代に向けて

～江戸時代がその後の医療にもたらしたもの～

これら8つのトピックスは、明治以降の日本の医療にとっていったいどんな意味を持っていたのでしょうか？ここで改めて、江戸時代が残したものを整理してみましよう。

- 一、東洋医学を日本の風土に合わせて体系化することで、西洋医学を学ぶ「**土壌づくり**」ができた。
- 二、最先端の西洋医学と科学書の翻訳をベースに、関連図書の情報や自らの経験を追加編集し、日本語で庶民に**流布**する文化を作った。
- 三、実効力のある西洋医学を国内に**伝播**させる医学校を設立し、**志の高い人材**を輩出し続け、**伝承**していく仕掛けとした。
- 四、日本にはない西洋の「**奇品**」をお手本に、**自らの手でモノづくり**をすることで、加工技術の習得と原理の理解を実地で習得した。
- 五、何としても「いのちを救いたい」という根源的な動機を持ち続けた。

館内企画展アーカイブ

# バーチャル展示室

THE VIRTUAL  
EXHIBITION ROOM 360



館内企画展アーカイブ **バーチャル展示室360** > <https://www.tcm.it.org/360virtual/>

これまでにトヨタ産業技術記念館で開催した企画展をご紹介します。デジタルアーカイブです。

360度VRコンテンツで、臨場感溢れるバーチャル展示をお楽しみください。



**トヨタ産業技術記念館**

当サイトに掲載の記事・写真の無断転載を禁じます。

Copyright(C) Toyota Commemorative Museum of Industry and Technology All rights reserved.